

(2)「無事ですプレート」掲示と隣近所の助け合い



3. 「無事です」プレートを掲示 (発生から5~10分)

●震度6以上の場合は忘れずに掲示しましょう！

4. 隣近所の安否確認、助け合い、避難 (発生から10分~30分)



- 隣近所の「無事です」プレートを確認し、掲示されていない家があれば安否の確認をする
- 隣近所が協力し、可能な範囲でけが人の救出や救護にあたる
- 自宅が安全でない場合は、近くの避難広場(セントラルパーク、つくし野小、つくし野中)に一時(いつとき)避難する
- 家屋が倒壊して火災が発生した場合や、避難指示が出た場合は、近くの避難広場(セントラルパーク、つくし野小、つくし野中)に避難する
- 避難広場で経過を見たのち、自宅が戻れる状態なら自宅に戻る
- 自宅に戻れない人は、避難施設(つくし野小、又はつくし野中)へ移動する
- 自宅備蓄の水がなくなったときは、セントラルパークで給水を受けられる

◆自宅・家族の無事確認の次は…

「隣近所の無事確認」=一目でわかるのが「無事ですプレート」です。

- ★「お隣のおばあちゃんの家、出てないわ」⇒行ってみよう！ 顔を見るまでピンポン・ドンドン
- ★「向かいの独居おじいちゃん宅は出てる」⇒大丈夫、生きてるわ、良かった
- ★無事かどうか最初に確認できるのは「隣近所」です。日頃から隣近所とコミュニケーションをとっておきましょう。
- ★この状況を班長さんに知らせておこう⇒班長が集計⇒自治会・防災支援隊へ班状況を連絡

◆防災訓練では、毎回震度6を想定してプレート掲示訓練をしています。

- ★本災時に迷わず掲示する習慣を身につける目的です。玄関(靴箱等)に常備しておきましょう。
- ★訓練時の掲示率が17年春から75%⇒18年春54%⇒同秋50%と落ちてきています(表参照)。

◆自宅の危険度・余震状況を見て危険と判断したら、まず避難広場へ。

5. 「避難施設」はつくし野小、又はつくし野中 (どちらでも良い)



- 避難者登録を行い、市や自治会・自主防災支援隊の指示に従う
- つくし野小又はつくし野中の備蓄食料や生活用品は避難者優先となる

- ケガをした場合、「災害拠点連携病院」は「町田慶泉病院」(042-795-1668)
- 町田市防災行政無線 フリーダイヤル:0800-800-5181
- 家族相互の安否確認(NTT 災害伝言ダイヤル):171